

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
北海道ハイテクノロジー専門学校		昭和62年12月4日	塩野 寛		〒061-1396 恵庭市恵み野北2丁目12番1 (電話) 0123-36-8119		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人産業技術学園		昭和63年1月5日	宮川 藤一郎		〒061-1396 恵庭市恵み野北2丁目12番 (電話) 0123-36-8119		
目的	多様化する様々な保育・福祉サービスに対応できるだけでなく、社会人としても優れた人材育成を目指し、将来同分野において第一線で活躍できる専門職を育成する。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	子ども・こころ学科		平成6年文部科学大臣告示84号	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	2775	1065	1440	270		
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人 の内数		83人 の内数	4人 の内数	45人 の内数	49人 の内数		
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 ■3学期:		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 筆記 実技試験 レポートにより評価する			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～8月18日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	選択必修科目・自由選択科目のどれかを必ず選択し履修する事が、進級・卒業の要件となり、進級・卒業認定は判定会議にて学校長が行う			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・面談・訪問様等で保護者と連携		課外活動	■課外活動の種類 幼稚園・福祉施設のボランティア 地域イベント参加 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 社会福祉施設全般 幼稚園 保育園 ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100 % ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	保育士資格 幼稚園教諭2種 社会福祉主事(任用)資格 介護職員初任者研修			
中途退学の現状	■中途退学者 10名 平成28年4月1日 在学者 83名 平成29年3月31日 在学者 83名		■中退率 10 % (平成28年4月1日 入学者を含む) (平成29年3月31日 卒業者を含む)				
	■中途退学の主な理由 進路変更						
	■中退防止のための取組 定期的な面談など、個別対応・相談など学校全体で中退学者0%への取り組みを行っている。						
ホームページ	URL: http://www.hht.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改定を定期的実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

各業界と連携を図り現在おかれている業界の状況、動向について理解し業界が必要とする人材を育成するべく、通常講義と合わせて同等数の実践カリキュラムを編成し即戦力となる人材を養成する。また、対人援助職として幼児教育者、福祉職としての資質の向上を目的とし各対象となる利用者の気持ちに寄り添い一人ひとりの個別の状況に応じた対応ができるようにコミュニケーション力、対人援助職としてのカウンセリングマインド高められる科目を導入し、専門的な知識や技術だけではなく、業界が求める人物像である主体性や人間力を合わせ持つ専門職を養成するカリキュラムを連携企業の意見を参考に編成する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥山 恒夫	株式会社 恵庭リサーチ・ビジネスパーク 代表取締役社長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
八木 康之	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北海道センター所長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
西村 浩樹	株式会社ホクドー営業部 部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
前仲 勝実	北海道大学大学院薬学研究院 生体分子機能学研究室 教授	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
菅原 直臣	NPO法人北広島ITネットワーク 理事長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
藤浦 将輝	株式会社ナスカコンピュータ システムエンジニア	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
前田 元照	札幌市私立幼稚園連合会 会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
若林 尚子	島松いちい保育園 園長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
清水 敏博	医療法人社団慶心会介護付き有料老人ホーム ラ・デュース恵み野 施設長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
石本 良之	一般社団法人 医療秘書教育全国協議会 事務局長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
藤本 尚之	医療法人社団 尾形病院 事務局長	2016.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
足立 晋	医療法人北農会 恵み野病院 事務局長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
大橋 由美子	公益社団法人 北海道看護協会 札幌第三支部長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
佐藤 真理	医療法人北農会 恵み野病院 看護部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
蔵重 勉	特定医療法人 修道会 本日記念病院 看護部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
太田 宗夫	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 代表理事	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
高橋 順一郎	医療法人社団 愛心館 理事長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
瀧川 裕子	一般社団法人 北海道歯科衛生士会 副会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
尾島 玲子	医療法人社団 尾島歯科医院 理事	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
中川 喬	北海道公立大学法人札幌医科大学 名誉教授	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
畑中 孝輔	日本赤十字社 北見赤十字病院 眼科検査課 課長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
安田 義幸	株式会社 馬場義肢製作所 代表取締役	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
柏崎 カネ	有限会社 三愛義肢製作所 代表取締役	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
相馬 充晴	一般社団法人 日本義肢協会 北海道支部長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
真下 泰	公益社団法人 日本臨床工学技士会 副会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院 臨床工学技士 主任	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役員(1企業や関係施設の役員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

平成28年2月12日 14:00～16:00 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7校舎 保育実習室
 平成28年7月8日 14:00～16:00 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7校舎 保育実習室
 平成29年2月10日 14:00～16:00 (予定) 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7校舎 保育実習室

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育編成委員会の中で様々な立場での意見をいただき、どの分野であっても、保育・福祉の現場では対人援助職として対象者だけではなくその保護者とも円滑なコミュニケーションを取ることが必須であり、求められる。しかし、なかなかコミュニケーションに長けた人材がおらず、養成校の中で現場を見据えたコミュニケーション能力を育成することが求められる。学科としてはコミュニケーション能力の向上と園行事等のイベント力の向上を目的として、学内の子育て支援施設フーレめぐみでの実践を講義として積極的に取り入れ、子どもたちだけではなく職員や保護者とかがかわる経験を増や実践力の高い専門職の育成を目指すこととする。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

理論で学んだことを実際の現場で経験し専門職としてのさらなる知識、技術を学ぶ場とするだけでなく、社会人としての一般的なルールやマナー、保育・福祉職としての人間性や道徳観を学ぶ場とし、チームで業務にあたる大切さを実感させる場とする。また現場実習を通し学生自身の次の課題の発見の機会とし業界の評価を基にさらなる知識、技術の向上を図ることを目的とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

現場実習における総合的な指導。各年齢に沿った指導案の作成と実践を通して保育の実際や自身の課題発見につなげる。また、乳幼児に対する専門的な関わりのほかに保護者や地域の方への支援の在り方についての理解を深める。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
保育実習Ⅰ	保育所での養護と教育のを一体的に行う重要性や保育における実践力の向上また、地域における子育て支援や保育所の役割、機能について体験的に学ぶ	島松いちい保育園 恵み野保育園 他
保育実習Ⅲ	児童福祉施設、社会福祉施設の中で何らかの問題や課題を抱える家庭や個人に対して自立に向けた支援の在り方や自立に向けた支援計画の在り方、他職種との連携について体験的に学ぶ	札幌報学園 北ひろしま福祉会 恵庭光と風の里 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にやっていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

①北海道私立幼稚園協会、札幌市私立幼稚園連合会の主催する研修会、会合に参加し、現場の実際を学ぶと共に業界との連携を深め、現場と養成校の現状の課題や今後の取組等についてより連携を図る。

②担任研修、カウンセリング研修、FD研修等を実施し各担任のクラス運営力やマネジメント力、学生のサポートスキルの向上を図る。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

平成28年6月8日 自閉症スペクトラムとはどんな病気か 1名

平成28年7月13日 注意欠陥多動症(ADHD) 1名

②指導力の修得・向上のための研修等

平成28年7月17日 精神保健福祉士 実習演習担当教員講習 基礎分野講習 1名

平成28年7月22日 性格と病理の境界線とは？～今どきの学生との付き合い方～

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

平成28年10月12日 子どものうつ病 1名

平成28年11月16日 子どもの摂食障害の診断と治療 1名

平成28年12月14日 子どもの精神療法はどのように行うか 1名

②指導力の修得・向上のための研修等

平成28年8月29日 精神保健福祉士 実習演習担当教員講習 実習分野講習 1名

平成28年9月5日 精神保健福祉士 実習演習担当教員講習 演習分野講習 1名

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校法人産業技術学園が設置する専修学校における教育・運営活動等の状況について、自ら行う点検及び評価の項目並びにその実施体制等について検証し、問題点を把握の上目標を明確化し、必要な支援・改善を行うことにより、教育水準の向上と質の保証を図ることが重要である。また多くの外部評価を受けることにより学校評価の精度を高め、客観性を持った評価による改善を目指したい。特に卒業生、保護者、地域住民、企業等との相互理解と連携を確立し、学校の説明責任を果たしていくよう努めることにより学校の組織力を高め地域に支えられる学校づくりにも貢献したい。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1-1理念・目的・育成人材像は定められているか
(2)学校運営	2-4運営方針は定められているか 2-5事業計画は定められているか
(3)教育活動	3-10各学科の教育目標、育成人材像はその学科に対応する業界の
(4)学修成果	4-19就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が
(5)学生支援	5-23就職に関する体制は整備されているか
(6)教育環境	6-31施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
(7)学生の受入れ募集	7-34学生募集活動は適正に行われているか
(8)財務	8-38中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
(9)法令等の遵守	9-42法令、設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
(10)社会貢献・地域貢献	10-46学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
(11)国際交流	11-48グローバル人材の育成に向けた国際交流などの

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

自己点検自己評価については、「計画」「実践」「評価」の一連のサイクルを行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し懇談を通じての意見や要望を聴取する。聴取した内容は、学校運営に関する事項は、学内の学校長、副校長、教務部長、部署長の会議である「運営会議(定例会毎週1回)」にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行い12月には改善計画を含めた事業計画を策定する。一方教育活動については教員及び学科長で構成される学内組織である「教育改革委員会(定例会月1回開催)」にて検討し、1月には次年度カリキュラムの改定にむけての検討ならびに日々の授業運営の改善にを実施している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院	2015.9月～ 2017.8月	卒業生
野 清美	動物科学科保護者	2015.9月～ 2017.8月	保護者
大場 真哉	帯広大谷高等学校	2015.9月～ 2017.8月	高等学校
早坂 貴敏	恵庭市市議会議員	2015.9月～ 2017.8月	近隣関係
奥山 恒夫	株式会社 恵庭リサーチ・ビジネスパーク	2015.9月～ 2017.8月	企業等委員
足立 晋	医療法人北晨会 恵み野病院	2015.9月～ 2017.8月	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.hht.ac.jp/resources/pdf/abm00027340.pdf>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校のホームページにて情報を公開する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	(2)各学科等の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	(11)その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

HP <https://www.hht.ac.jp/disclose-information.html>

教育課程表

(教育・社会福祉専門課程 子ども・こころ学科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			学習基礎講座 Academic Ability Basic Lecture	数理解、国語力等、今まで身につけてきた一般学力をより高めていく事を目的とし以後の専門カリキュラムの理解度のアップにつなげる。試験によって評価する。	1前	30	1		○		○			○		
○			コミュニケーション技法 communication technique	コミュニケーションの基本である、見る・聴く・話す・読む・書く力を身につけ、自己理解・他者理解への梨花を進め、これから始まる専門教育の学習の基盤となる心構えを学ぶ。試験で評価する	1前	15	1	○				○				
○			学外実践指導outside the school Practice instruction	数理解、国語力等、今まで身につけてきた一般学力をより高めていく事を目的とし以後の専門カリキュラムの理解度のアップにつなげる。試験によって評価する。	1前	15	1	○				○				
○			講読演習Ⅰ Professional ConductⅠ	社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際のな題材をもとに学習する。	1通	30	1		○			○				
○			講読演習Ⅱ Professional ConductⅡ	社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際のな題材をもとに学習する。	2通	30	1		○			○				
○			講読演習Ⅲ Professional ConductⅢ	社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際のな題材をもとに学習する。	3通	30	1		○			○				
○			卒業研究/総合演習 Graduation Production	今までの学習の集大成として個人又はグループで各コース毎にまとめを行う。論文によって評価する。	3通	60	2		○			○				
○			情報処理入門Ⅰ Data ProcessingⅠ	コンピュータの歴史、種類、仕組みなど基本的なことを理解する。試験によって評価する。	1前	15	1		○			○				
○			幼児体育 Physical Education for Preschool Children	幼児期における体育の重要性は諸個人の生涯に影響を及ぼす。この観点に立ち諸課題を追求する。試験によって評価する。	2前	15	1		○			○				
○			パソコン Practical Computer UsageⅠ	現代社会のOA化に対応できるようになることを目標とする。特に基本的な操作については確実に学ぶ。試験によって評価する。	2前	30	1		○			○				
○			家庭支援論 Family Social Work	現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活、特にその人間関係のあり方を理解する。レポート及び試験によって評価する。	2前	30	1		○			○				
○			児童家庭福祉 Child Family Welfare	現代における児童福祉の理念を踏まえてその原理・政策の実際を理解把握する。試験によって評価する。	2前	30	2	○				○				
○			健康科学 Health Science	健康の意義及び健康に影響する諸因子を理解する。試験によって評価する。	1前	15	1	○				○				
○			日本国憲法 Japanese Constitution	基本的人権の尊重・民主主義・平和主義の原則を日本国憲法の基礎として考察する。試験によって評価する。	1前	30	1		○			○				
○			現代社会と福祉 Modern Society and Welfare	社会の変化と福祉を学び、福祉政策の理念・主体・手法、関連領域及び福祉サービスについて理解する。試験によって評価する。	1通	60	4	○				○				
○			社会的養護 Social Protection	児童養護の意義や理念について考察し原則を理解した上で社会的養護の具体的展開について方法やシステムを学ぶ。試験によって評価する。	1前	30	2	○				○				
○			子どもと社会 Children and Society	幼児教育現場の事情、子育て支援や保護者の対応、実習とは何か等実習前に理解すべきことを中心に学習する。試験によって評価する。	3後	30	1		○			○				
○			教育原理 Principle of Education	教育の一般的原理をその最も基礎の部分において学ぶ。試験によって評価する。	1前	30	1		○			○				
○			教育相談 Educational Counseling	カウンセリング等の相談法は臨床心理学の技法であり、その理論を学ぶ。試験によって評価する。	2前	30	1		○			○				
○			教育方法論 teaching Methodology	乳幼児の心身の発達に関する理解を深め保育指導に関する知識・技術を習得する。試験によって評価する。	1前	30	1		○			○				
○			教育課程総論 School Curriculum	児童の実態に則して自主的に教育計画を編成することができるような基礎的な能力を養う。レポート及び試験によって評価する。	1前	30	2	○				○				
○			教職概論 teachingoutline	いじめ、不登校、学級崩壊等で教育病理が激しくなり、教師に対する期待や責任が増大する中、それに応える教師として求められることを育てるカウンセリングマインドの育成。試験によって評価する。	1後	30	2	○				○				
○			保育原理 Principles of Child Care	保育とは何かについて考える。歴史・発達・課題・目標・内容等具体的な保育について学ぶ。試験によって評価する。	2前	30	2	○				○				
○			児童文化 Arts and Culture of Children	子どもによりよい文化環境を与えることを目的とした領域「絵本」を中心に紙芝居・ペープサートも学ぶ。試験によって評価する。	2後	15	1	○				○				
○			乳児保育 Infant Care	乳児の保育は特殊な分野である。その特異性を中心に学ぶ。レポート及び試験によって評価する。	3前	15	1	○				○				
○			子どもの保健Ⅰ Child's HealthⅠ	小児の正常な身体発育を保健の視点から講義する。試験によって評価する。	1前	30	1		○			○				
○			子どもの保健Ⅱ Child's HealthⅡ	小児保健の講義内容を実習を通して理解する。レポートによって評価する。	2前	30	1		○			○				
○			教育心理学 Educational Psychology	乳幼児の行動・言語等の発達と精神過程を理解する。レポートと試験によって評価する。	1前	15	1		○			○				

○		乳幼児心理学 Infant Psychology	自己と他者の理解のために人間の心や行動の基礎にある原理を学ぶ。試験によって評価する。	2 後	15	1	○			○			○
○		発達心理学 Developmental Psychology	乳幼児の行動・言語等の発達と精神過程を理解する。試験によって評価する。	2 前	30	2	○			○			○
○		青年心理学 psychology of adolescence	乳幼児から老人までの心理を考え、特に乳幼児の精神発達とその教育について考える。試験によって評価する。	3 前	15	1	○			○			○
○		子どもの食と栄養 Child's Food and Nourishment	幼児期の栄養は成人とは異なる意義を理解。成長発達に伴う特徴を適切に把握。小児栄養の重要性を学ぶ。試験によって評価する。	2 前	15	1	○			○			○
○		障がい児保育 Handicapped Child Care	障害児保育を支える理念に関して理解を深める。試験によって評価する。	2 前	15	1	○			○			○
○		高齢者福祉論 Welfare for the Elderly I	老人について理解しその生活上の諸問題に対する老人福祉サービスについて学ぶ。試験によって評価する。	3 前	30	1		○		○		○	
○		造形表現	表現活動に必要な素材研究・援助指導を行える能力を養成。幼児の表現力を引き出す手段を考える。作品提出によって評価する。	1 前	15	1		○		○			○
○		保育・教職実践演習 Child Care and Teaching Job Practice	自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基礎的知識を学ぶ。レポート及び演習によって評価する。	2 前	15	1		○		○			○
○		ピアノ I Piano I	鍵盤楽器の基本的奏法を身につけ、音楽教育の教材として使いこなせるようにすることを目標とする。試験によって評価する。	1 通	60	2		○		○			○
○		ピアノ II Piano II	鍵盤楽器の基本的奏法を身につけ、音楽教育の教材として使いこなせるようにすることを目標とする。試験によって評価する。	2 通	60	2		○		○			○
○		音楽を学ぼう Let's Study Music	鍵盤楽器の基本的奏法を身につけ、音楽教育の教材として使いこなせるようにすることを目標とする。試験によって評価する。	1 後	30	1		○		○			○
○		声楽と子どもの歌 I Vocal Music I	声楽の基礎・基本を習得し幅広い音楽的教養を探究しながら幼児の音楽教育法について学習する。試験によって評価する。	1 後	15	1	○			○			○
○		声楽と子どもの歌 II Vocal Music II	声楽の基礎・基本を習得し幅広い音楽的教養を探究しながら幼児の音楽教育法について学習する。試験によって評価する。	2 後	30	1		○		○			○
○		カウンセリング Seminar on Counseling	カウンセリング理論を基にロールプレイング等演習を行う。試験によって評価する。	2 前	30	1		○		○			○
○		点字・手話 Braille	視覚障害者に対する理解を深めるため、コミュニケーション手段の一つである点字の基礎を学ぶ。試験によって評価する。	3 後	30	1		○		○			○
○		人体の構造と機能 及び疾病 The Structure, Function, and Illness of a Human Body	人の成長と発達、疾病・障害の概要、国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方を学ぶ。試験によって評価する。	1 前	30	2	○			○			○
○		心理学理論と 心理的支援 Psychology the Theory and Psychologic Support	心理学の概要を理解させ、人間理解とその技法の基礎と概要について理解させる。試験によって評価する。	1 前	30	2	○			○			○
○		社会理論と社会 システム A Social Theory and a Social System	現代社会及び生活の理解、人と社会の関係を学び、社会問題を理解する。試験によって評価する。	3 前	30	2	○			○			○
○		低所得者に対する支援と生活保護 制度 The Support and the Social Aid System to a Low Income Earner	低所得者の生活実態とそれを取り巻く社会情勢、福祉需要、自立支援プログラム等について理解する。試験によって評価する。	2 後	30	2	○			○			○
○		地域福祉の理論と方法 The Theory and The Method of a Community Welfare	地域福祉の基本的な考え方、組織、団体、専門職の役割等について理解する。試験によって評価する。	3 通	60	4	○			○			○
○		障害者に対する支援と 障害者自立支援制度 The Support and the Disabled Person Independence Support System to a Disabled Person	障害者を取り巻く現状を理解すると共に、障害者にかかわる法体系、障害者自立支援制度について学ぶ。試験によって評価する。	2 後	30	2	○			○			○
○		社会保障 Theory of Social Security	社会保障の理念と意義、わが国の社会保障制度の概要を学ぶ。試験によって評価する。	3 通	60	4	○			○			○
○		権利擁護と成年 後見制度 Right Protection and an Adult Guardianship System	社会的排除、相談援助活動、成年後見制度や行政や民法との関わりについて理解する。試験によって評価する。	3 前	30	2	○			○			○
○		保健医療サービス Health and Medical Service	保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割及び連携と実践等について学ぶ。試験によって評価する。	3 後	30	2	○			○			○
○		福祉行政と 福祉計画 Welfare Administration and Finance and an Outreach Program	福祉の行政の実施体制や福祉計画の意義、目的、主体、方法、留意点等について理解する。試験によって評価する。	3 前	30	2	○			○			○
○		精神疾患とその治療 Mental Disorders and Treatment	精神医学の歴史と概念、代表的な精神障害や診断法、治療法について学ぶ。試験によって評価する。	3 通	60	4	○			○			○
○		精神保健の課題と支援 Mental Health Issues and Supports for Patients	精神保健の基礎知識を習得し、ライフサイクルや地域保健の関連において理解を深める。また、今後の精神保健のあり方を考える。試験によって評価する。	3 通	60	4	○			○			○
○		実習研究 Practice Research	理論で学んだことを実際の現場で学習する。実習先の評価によって評価する。	3 通	60	2		○		○			○
○		伝承遊び 手遊び・わらべうた Traditional Play	子どもの発達と絵本や紙芝居などに関する知識と技術を学び、子どもの経験や様々な表現活動と児童文化財とを結びつけた遊びの展開について学ぶ。試験によって評価する。	1 前	15	1	○			○			○
○		マジックスクール Class of Jugglery	子ども、高齢者等、それぞれの視点に立った演出方法や技術を習得する。試験によって評価する。	1 後	15	1	○			○			○

○		作って遊ぼう Let's Play by Creating	廃材を使っておもちゃの製作遊びや季節の壁面製作に取り組む。作品提出によって評価する。	1 後	15	1	○		○	○			
○		あそびのシアター Paper Folding and Theater of Play	ハンカチシアター、紙コップシアター、ペーパーバックシアター等、様々なシアターを学び、制作し、実演する。提出物及び試験で評価する。	3 前	30	1	○		○			○	
○		お遊戯 The Child's Play	各年齢の発達段階にそった動きや表現方法、曲の選定や衣装、道具の製作や効果的な使用について学習する。試験によって評価する。	2 後	30	1	○		○			○	
○		手作り布おもちゃ Handmade Cloth Toys	布の素材感をいかし手作りのおもちゃの製作に取り組む。作品提出によって評価する。	3 後	30	1	○		○			○	
○		福祉事務管理 Welfare Clerical Work Management	社会保障制度全般について学び、介護保険制度の理解や介護保険医療請求事務についての理解を深める。試験によって評価する。	2 通	45	3	○		○				○
○		障害者スポーツ論 Theory of Sports for the Disabled	障害者スポーツの全般について学びその必要性、役割について理解を深める。試験によって評価する。	3 通	30	2	○		○			○	
○		保育実習事前指導 Pre-and Post-Guidance for Child Care Practice I	実習生としての基本的な心構え、マナーを身につけ実習に対する問題意識を高める。試験及び提出物によって評価する。	1 後	30	1	○		○			○	
○		保育実習 事前事後指導Ⅰ（保育所） Pre-and Post-Guidance for Child Care Practice II	実習生としての基本的な心構え、マナーを身につけ実習に対する問題意識を高める。試験及び提出物によって評価する。	2 前	15	1	○	○			○		○
○		保育実習事前事後指導Ⅱ（施設） Pre-and Post-Guidance for Child Care Practice I	実習生としての基本的な心構え、マナーを身につけ実習に対する問題意識を高める。試験及び提出物によって評価する。	2 後	30	1	○	○			○		○
○		保育実習 事前事後指導Ⅲ（施設） Pre-and Post-Guidance for Child Care Practice III	実習生としての基本的な心構え、マナーを身につけ実習に対する問題意識を高める。試験及び提出物によって評価する。	3 前	15	1	○	○			○		○
○		教育実習事前事後指導 Pre-and Post-Guidance for Teaching Practice I	幼児教育者として求められる目標を達成するために現場での幼児との関わり方を理解する。試験によって評価する。	2 前	15	1	○	○			○		○
○		スクーリング 生涯スポーツ Lifelong Sports	運動が健康に影響する諸因子を理解し、ライフスタイルに合わせた高齢者に対する健康増進や障害者に対するスポーツについて理解する。試験によって評価する。	3 前	30	1	○		○			○	
○		スクーリング 社会的養護内容 Content of Social Protection	養護原理をふまえて児童福祉施設における目的と機能、プログラム展開等児童処遇の実態を理解する。レポート及び試験によって評価する。	2 後	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 相談援助 Consultation Help	社会福祉の概念を学ぶ福祉施設の現状と制度等の問題点を考える。目的・意識を理解する。試験によって評価する。	3 前	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 情報処理入門Ⅰ Data Processing I	コンピュータの歴史、種類、仕組みなど基本的なことを理解する。試験によって評価する。	1 前	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 健康（指導法） Health	子どもの全体的な発達を促すために人間の身体、健康それに関わる環境についての理解。試験によって評価する。	1 前	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 人間関係（指導法） Human Relations	人との関わりを持つ力を育てるという課題の理解、人間関係をそだてる園・家庭について考える。試験によって評価する。	1 前	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 環境（指導法） Environmental Affects	環境に対する知的好奇心や探求心を深め、より良い環境をつくらうとする力を幼児の内面に総合的に育てる方法を考える。試験によって評価する。	1 前	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 言葉（指導法） Linguistics	言葉の獲得の道筋や、見たこと、感じたこと、話し方、聞き方などの言葉のもつ意義の理解と表現力を学習する。試験によって評価する。	1 前	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 音楽Ⅰ（楽器・声楽） Music I	ピアノ：鍵盤楽器の基本的奏法を理解。表現力を学ぶ。 声楽：幼児の音楽教育法について学習。試験によって評価する。	1 後	15	1	○		○				○
○		スクーリング 音楽Ⅱ（楽器・声楽） Music II	ピアノ：鍵盤楽器の基本的奏法を理解。表現力を学ぶ。 声楽：幼児の音楽教育法について学習。試験によって評価する。	2 後	15	1	○		○				○
○		スクーリング 図画工作 Arts and Crafts	如何にして子ども達の創造力を育てていくかを理論と実技を通して学ぶ。作品提出によって評価する。	2 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 児童文化 Arts and Culture of Children	子どもによりよい文化環境を与えることを目的とした領域「絵本」を中心に紙芝居・ペープサートも学ぶ。試験によって評価する。	2 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 子どもの保健Ⅲ Child's Health III	小児の正常な身体発育を保健の視点から講義する。試験によって評価する。	3 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 障がい児保育 Handicapped Child Care	障害児保育を支える理念に関して理解を深める。試験によって評価する。	2 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 子どもの食と栄養 Child's Food and Nourishment	幼児期の栄養は成人とは異なる意義を理解。成長発達に伴う特徴を適切に把握。小児栄養の重要性を学ぶ。試験によって評価する。	2 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 劇あそび（指導法）	子どもの発達に合わせた年齢ごとの劇あそびの指導法・表現について学ぶ。自身が演じることによって演じ方の基礎を学ぶ中で子ども理解を深める。実技試験によって評価する	1 後	15	1	○		○			○	
○		スクーリング 幼児体育 Physical Education for Preschool Children	幼児期における体育の重要性は諸個人の生涯に影響を及ぼす。この観点に立ち諸課題を追求する。試験によって評価する。	2 後	15	1	○			○			○
○		スクーリング 造形表現（指導法） Expression I	表現活動に必要な素材研究・援助指導を行える能力を養成。幼児の表現力を引き出す手段を考える。作品提出によって評価する。	1 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 音楽表現（指導法） Expression II	幼児期に豊かな感性を育てられる保育者を目指す。そのための創造的な動き・表現・技術・方法を身につける。試験によって評価する。	1 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 教育心理学 Educational Psychology	自己と他者の理解のために人間の心や行動の基礎にある原理を学ぶ。試験によって評価する。	1 前	15	1	○		○				○
○		スクーリング 青年心理学 psychology of adolescence	乳児幼児期から、青年期までを総合的にとらえ発達の過程とアイデンティティの4形成について理論的に学ぶ。筆記試験で評価する。	3 前	15	1	○		○				○

○		スクーリング保育・教職実践演習 Child Care and Teaching Job Practice	自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基礎的知識を学ぶ。レポート及び演習によって評価する。	2 後	15	1		○	○	○				
○		スクーリング 英会話 I English Conversation I	福祉英語検定試験4級の合格に必要な英語力の習得。試験によって評価する。	1 後	15	1		○	○					○
○		スクーリング 乳幼児心理学 Infant Psychology	乳幼児の行動・言語等の発達と精神過程を理解する。試験によって評価する。	2 前	15	1	○		○					○
○		スクーリング 保育相談支援 Child Care Consultation Support	保育、児童福祉の現場における相談支援の意義、基本について学び、保護者支援について理解する。試験によって評価する。	2 後	15	1		○	○					○
○		スクーリング 保育実習 事前事後指導 I (保育所) Pre-and Post-Guidance for Child Care Practice I	実習生としての基本的な心構え、マナーを身につけ実習に対する問題意識を高める。試験及び提出物によって評価する。	2 前	15	1	○	○		○				○
○		保育実習 I (保育所) Child Care Practice I	実習日誌等実習に必要なことを実践的かつ理論的に理解する。実習先の評価によって評価する。	2 前	90	2			○	○				○
○		保育実習Ⅲ (施設) Child Care PracticeⅢ	理論で学んだことを実際の現場で学習する。実習先の評価によって評価する。	3 前	180	4			○	○				○
○		スクーリング 乳児保育 Infant Care	乳児の保育は特殊な分野である。その特異性を中心に学ぶ。レポート及び試験によって評価する。	3 前	15	1		○	○					○
○		スクーリング 保育内容総論 Child Care Content Introduction	幼稚園・保育園の保育の内容や方法を学ぶ。試験によって評価する。	1 前	15	1	○			○				○
○		スクーリング 言語表現 Linguistic Expression	子どもの発達と絵本や紙芝居などに関する知識と技術を学び、子どもの経験や様々な表現活動と児童文化財とを結びつけた遊びの展開について学ぶ。試験によって評価する。	3 前	15	1		○		○				○
○		スクーリング 保育実習 事前事後指導Ⅲ (施設) Pre-and Post-Guidance for Child Care PracticeⅢ	実習生としての基本的な心構え、マナーを身につけ実習に対する問題意識を高める。試験及び提出物によって評価する。	3 前	15	1	○	○		○				○
○		教育実習 I Teaching Practice I	実習理論を基礎として、教育の本質的な議論ができる知識を身につけ実践を行う。実習先の評価による。	2 後	90	2			○	○				○
○		教育実習 II Teaching Practice II	実習理論を基礎として、教育の本質的な議論ができる知識を身につけ実践を行う。実習先の評価による。	2 後	90	2			○	○				○
○		スクーリング 教育実習事前事後 指導 Pre-and Post-Guidance for Teaching Practice I	幼児教育者として求められる目標を達成するために現場での幼児との関わり方を理解する。試験によって評価する。	1 後	15	1	○	○		○				○
○		精神保健福祉の理論と相談援助の 展開 Theories and Practices on Psychiatric Social Work	社会福祉サービス及び医療を利用する方の人権と自己決定を尊重する精神保健福祉士の専門性に基づき、その専門的援助活動の目的や価値並びに体系などについて、具体的事例を通して理解する。試験によって評価する。	1 通	60	4		○		○				○
○		精神保健福祉活動に関する 制度とサービス Community Mental Health and Welfare Services	精神障害者の相談援助活動と法、支援に関連する制度及びサービス、施設、団体、関連機関等について理解し、社会調査の基礎的な知識を理解する。試験によって評価する。	3 通	60	4		○		○				○
○		精神障害者の生活 支援システム Community Supports for Patients with Mental Disorder	精神障害者の生活支援の意義と特徴、職業リハビリテーションの概念及び就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。試験によって評価する。	2 後	30	2		○		○				○
○		精神保健福祉相談 援助の基盤 (基礎) The Base of Mentalhealth Welfare Consaltation Assistance I	精神保健福祉士の役割 (総合的包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む) と意義について理解する。試験によって評価する。	1 前	30	2		○		○				○
○		精神保健福祉 相談援助の基盤 (専門) The Base of Mentalhealth Welfare Consaltation Assistance II	精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解し、精神障害者の相談援助に係わる専門職の概念と範囲について学ぶ。試験によって評価する。	2 前	30	2		○		○				○
○		精神保健福祉援助演習 (基礎) Mental Health Welfare Assistance Exercises I	精神保健福祉士に求められる相談援助に係わる基礎的な知識技術について実践的に習得すると共に、専門的援助技術として概念化し、理論化し体系化する能力を滋養する。試験によって評価する。	2 前	30	1		○		○				○
○		精神保健福祉援助演習 (専門) Mental Health Welfare Assistance Exercises II	具体的な課題別の精神保健福祉援助の事例 (集団に対する事例を含む) を活用し、実現に向けた精神保健福祉課題を理解し、援助について実践的に習得する。試験によって評価する。	3 通	60	2		○		○				○
○		精神保健福祉援助実習 Mental Health Welfare Assistance Training	精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係わる専門的知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。実習先の評価による。	3 後	225	5			○	○				○
○		精神保健福祉 援助実習指導 I Mental Health Welfare Assistancelaboratorywork I	精神保健福祉援助実習の意義について理解し、精神保健福祉援助に係わる知識と技術について具体的且つ実践的に理解し、実践的な技術等を体得する。試験によって評価する。	2 後	30	1		○		○				○
○		精神保健福祉 援助実習指導 II Mental Health Welfare Assistancelaboratorywork I	精神保健福祉援助実習の意義について理解し、精神保健福祉援助に係わる知識と技術について具体的且つ実践的に理解し、実践的な技術等を体得する。試験によって評価する。	3 通	60	2		○		○				○
○		海外研修 Overseas Training	海外の保育・福祉領域での現地学習を行い、国際人としての広い研鑽を積む。	1 後	135	3			○	○	○			
○		福祉英語 English for Public Welfare	福祉英語検定試験4級の合格に必要な英語力の習得。試験によって評価する。	1 後	15	1	○			○				○
○		健康・生きがいづくり総論 Theory of Improving Health and Well-Being	中高年の健康生きがいづくりの包括概念を学ぶ。試験によって評価する。	1 通	60	2		○		○				○

		○	福祉住環境論 Theory of Welfare -Based Residential Environment	福祉住環境コーディネーター資格取得の為の学習をする。試験によって評価する。	3 後	30	1		○		○				○	
		○	レクリエーション Recreation	多くの種類の遊びやゲームを通して、レクリエーションの理論を学ぶ。試験によって評価する。	1 後	30	1		○		○				○	
		○	レク理論 Recreation Theory	レクリエーションの歴史や具体的な指導法について理論的に学ぶ。試験によって評価する。	1 後	30	1		○		○			○		
		○	自然と遊ぼう・レク Let's play with nature	身近な花や昆虫の名前や飼育方法など、自然に関する知識を深め、子どもたちの興味関心や探求心を刺激するなど保育実践の中に生かす。提出物・レポートにより評価する。	1 後	15	1	○			○	○	○			
		○	作業音楽療法・レクactivity music therapy	音楽を通じたリハビリテーションの機能や理論のついて実践的に学ぶ。実技試験で評価する。	3 後	15	1	○			○					○
		○	幼児体育指導 Infant Physical Education Leaders	幼児における運動の必要性と運動と発達の寒けについて学ぶ。また、運動指導の際の安全についても学ぶ。試験によって評価する。	3 前	15	1		○		○					○
		○	介護職員初任者研修 Begining Nursing-care Training	介護の本質、役割について学び、援助の方法を学ぶ。試験によって評価する。	2 通	195	13	○	○		○	○	○	○	○	○

必修科目時間数

95科目

2445時間

(131単位)

選択A(保育士資格)

6科目

330時間

(10単位)

選択B(幼稚園教諭)

3科目

195時間

(5単位)

選択C(精神保健福祉士)

10科目

615時間

(25単位)